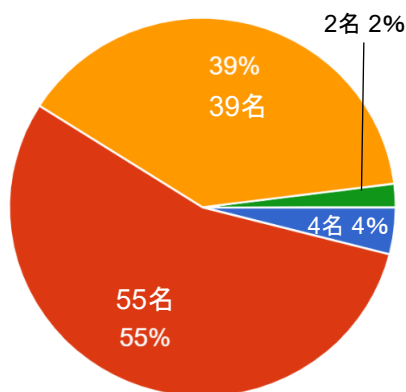


受入病院:98施設 回答率:99%

対象施設数:N=98 回答施設数:n=97(回答件数100件、内2施設から計3件の重複回答含む)

1. 事前準備や人員調整について



- 大変だった
- まあまあ大変だった
- あまり大変でなかった
- 大変でなかった

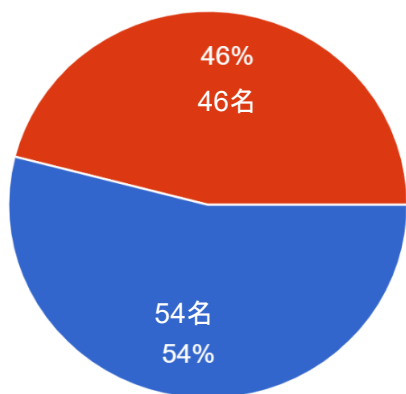
【大変だった・まあまあ大変だった】

- ほぼ1人で行っているため企画や準備に細々と手間がかかる
- 学校への文書の準備や送付に手間取ったが、ひな形があるのはありがたかった
- 高校生に看護師に興味を持っていただくための内容の検討や検討するための担当者同士の時間調整がうまく確保できなかったため
- 事前準備や人員の配置、関係各所への連絡調整などを行うための時間を確保するための担当者の業務調整が大変だった

【あまり大変でなかった・大変でなかった】

- 対応可能な人数、看護実習、オープンホスピタル等と重ならない日程で依頼させていただき、調整していただいたため
- 体験事業は初の試みで一日に2名を受け入れた
主に看護部長が事前準備、看護部と他部門との調整や当日の案内を担う
最初、協会から届いた資料は、枚数が多く戸惑ったが、読み間違えのないように慎重に確認して、それぞれの高校の担当教諭へ早めに連絡できた
当日のスケジュールも、資料が大いに役立った
- 事前に流れや役割分担を確認していたため、準備や当日の人員調整をスムーズに行うことができました
- 毎年関わらせて頂いており、慣れて来ましたし看護部だけでなく他職種も協力的であるため
- 昨年の評価から内容、スケジュールなど事前に計画していたため

2. 高校生が看護職を職業選択するための一助となる内容として実施できたか



- 実施できた
- まあまあ実施できた
- あまり実施できなかった
- 実施できなかった

【実施できた】

- 先輩看護師から看護師を目指してや看護学校を選んだ理由や学生時代の話ができたので参考になったと思うから
- 看護師の仕事の具体を見学してもらい、職業選択を明確にしてもらうことができた
- 病棟体験、認定看護師や救急、手術担当看護師との会話、新人との座談会など体験内容を工夫した
楽しかった、看護師のイメージができたとの声が聞かれた。先輩看護師に積極的に質問していた
- 体験後に高校生からお手紙をいただき、看護師の観察や関わりの一つ一つに意味があることを学び、看護師を目指したいという思いが強くなったとの感想をいただきました
看護職への理解を深める機会となり、職業選択の一助になったと考えます

【まあまあ実施できた】

- 付属看護学校教員からも最近の進路状況などのお話をいただけたため
- 多職種連携を意識して、看護だけでなく院内の様々な部署を見て回った
高校生からも非常に参考になったと言われた
- 短時間の取り組みの中で、語りあったり座学的な内容よりも、とにかく物品に触れ、実践して、写真撮影などで体験中の自分の様子を客観的に捉え、少しでもイメージできるよう関わりました
まあまあ実施できたのではないかと考えています
- 看護の基本中の基本の、手指衛生や病棟環境調整やコミュニケーションの必要性は伝えたいと思います

3. 受け入れにあたり(安全対策面など)工夫した点

- 高校生自身が体調不良になったらどうするか、感染対策(手指衛生など)を開始時にオリエンテーションした
- 病院食を体験に含むにあたり、アレルギーの確認を事前に行った
- 受け答えがスムーズで協力が得られる患者の選定、コミュニケーションと摂食に焦点を絞り実施できるように準備をした
- 病棟体験時の最初は、手洗い、手指消毒から実践して見せている
- 高校生は車椅子乗車や移送はほぼ体験済みであることから、アクティビティを意識した内容とした
6人グループに分け目が行き届くようにした
- 個人情報の保護について具体的な例を用い、また、部署での看護体験では必ず看護師の指示に従うことを説明した
身だしなみチェックは、お互いにしてもらった
- 点滴の認証作業を体験してもらう為、架空の患者、架空のオーダーを作成して実施した
- 事前にリスク(安全面等)のある患者様をピックアップし、当日関わらないようにスケジュールを組んだ
- 精神科の患者は予測できない行動をすることがあるため、看護室から看護師の働く現場を見てもらった
患者の私物管理など、精神科特有の援助について説明した
男性の学生もいたので、座談会に男性スタッフを選定した
- 初対面の緊張をほぐすためのアイスブレイクなど入れ、緊張をほぐしてからはじめました
そのほかは毎回ですが、体調面の確認。公共交通機関の時間の確認など行いました

4. 体験を通して、ご意見・課題等

- 「キラリ看護のシゴト」の動画を活用している。ぜひ、今後も充実していただけるとありがたい
- 少子化が進み、看護師を目指す人も少なくなっていると思われる。今後もこのような事業を通して看護に興味を持ってくれる人が増えると良いと思う
- みんな意欲的に体験してくれていて、意義のある活動だと思いました。運営してみて他施設がどのような体験を実施しているのか知りたいと思いました。企画時にその情報があると参考にさせていただくことができるため、自施設の体験内容をより良いものにできると思いました
- 事前に各自に持参物品や髪の毛をまとめることなど記載した用紙を送付したが、うち履きを忘れてくる生徒や髪の毛をまとめられない生徒がいて、どのような方法で伝えれば忘れ物などなく事業を実施できるのか検討しています
- 体験事業で普段経験できないことが特別に体験できるので、進路を考えるうえで、非常に貴重な機会であると思います。受け入れる側も、次世代を育てる意識が高くなると思います
- 高校生から寄せられた前向きな感想は、受け入れる当院職員にとっても、自らの看護を振り返り、仕事へのやりがいやモチベーションを高める機会になると考えます
今後も、高校生と職員双方にとって良い相互効果が得られる事業となることを期待したいです
- 奨学金制度の質問に対して、自治体や看護協会などの制度を紹介できるよう、予めリーフレット等を準備した方がよいと思った
- 集合時間に集まらない(2名の学生20分の遅れ)、説明中の居眠りなどあり、体験前に学校側の生徒への説明や心構えなどどのようにしているのか疑問に思いました
- 患者も若さと活気の溢れる高校生と接し、いつもよりも表情の良い方がいた。職員も初心を思い出せてよかったと思う
- 看護師という職業に如何に興味を持ってもらうかは、未来の看護職にとって大きな課題であるため、職業選択に繋がるような体験事業となるよう内容の吟味および改変は考えていく必要はあると思います。事業推進の一助となれるよう、病院としても尽力していきます
- 体験事業の企画内容について、今年度は前年度までの企画を一掃して、看護師の仕事を肌で感じてもらえるように病棟の体験実習を企画した。参加者からはこの企画内容について高評価でありよかった
- 学生さんからの質問が少ないように思いました。自分なりの課題や疑問を持って臨まれるといいのではないのでしょうか
- 看護師を目指した理由の一つに、待遇・給与面が良いからという意見が多くありました。来年度以降はその辺もオリエンテーションに含めても良いのかなと思いました
- より多くの高校生に関心を持ってもらうために受け入れ体験の他に学校に出向き看護職についてのアピールがあっても良いかと思いました

5. 体験事業の感想や体験された高校生や若年層に期待する事

- 看護はエッセンシャルワーカーであることをより強調して人間性豊かな人材が育ってほしいと期待する
- 地域の現状、看護職確保の課題を伝えた。看護職を選ばなかったとしても、Uターンしてほしいです
- 看護学生と違い高校生が来ることで、現場への刺激やいい緊張感となる
- 看護師を志して見学に来てくれた高校生の力に少しでもなれたら嬉しいです
看護により一層興味を持ってもらい、体験したことが今後の活動や目標に活かされればよいと思います
- 看護師の職場体験を通して、大変そうとのコメントをいただきました
最近ニュースでもネガティブな情報も多くなっており、そのようなイメージを持たれていると思います。なのでもっとポジティブな情報にも目を向けてほしいなと感じました
- 大変ですがやって良かったといつも思います
新しいことを受け入れることへの抵抗が少なく、スポンジのように吸収できる若い方へは、各世代の特徴を理解した対応を、いろいろな経験を通して磨いていくと良いと思います
- 先輩看護師からの体験談に目を輝かせて聞き入り、質問もしている生徒さんに、将来看護の力になってもらえると頼もしく感じました
県外に出たとしても、このような体験があれば新潟県内や地元に戻って、就職先を選ぶ一つのきっかけになると思います
- 高校生の体験を受け入れることは、看護スタッフへ刺激となり元気をもらいます
高校生への看護に関する語りを通して、看護スタッフ自身の看護観の再認識の機会となり、それが学生に伝わっていたんだなと改めて実感いたしました
- 受け入れ側も立ち止まる良い機会となる
交流会に参加する新人看護師には人前で話す訓練、看護師確保の重要性等、多少世界が広がったのではないかと感じた
- 高校生一日体験を通し、少しでも看護職に関心を持てただけであれば嬉しいです
先日も、インターシップできた看護学生が、当院の高校生1日体験に参加したとの話を聞き高校生1日体験が繋がっていると実感しました
- 看護師や医療職の仕事に興味を持てただけなこと嬉しく思います
今回の体験を将来の進路や職業選択を考えるきっかけとして活用してもらえたらと思っています
勇気があるかもしれませんが、修了書授与の時など、名前を呼ばれた時、元気に返事があると嬉しいです(病院側もそのような雰囲気を作れるよう配慮します)
- 若年層ならではの思考や意見を駆使して新しい時代を切り開いてほしいです